



農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第 24 号 香川県立農業大学校
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井 34-3
TEL 0877-75-1141 FAX 0877-75-3989
E-mail: nodai@pref.kagawa.lg.jp

校長あいさつ 先進地視察研修報告 全国・中四プロジェクト発表会 □卒論発表会 □同窓会
だより □活躍する卒業生 □技術研修科だより □頑張る修了生 □学生募集 □教職員名簿



入学生宣誓 石川さつきさん

4 月 10 日 入学式

農業を目指す皆さんへ

校長 仲本 孝幸

元号が「令和」となり、新たな時代の節目となる今年度もフレッシュな学生と頼もしい研修生を迎え、新しい年度が始まりました。

本校は、農業・農村を担う人材の養成を目的として、講義だけでなく、農場での生産活動に加え、試験場や先進農家で学ぶ機会を数多く取り入れるなど実践教育を基本にしています。

私は、農業を取り巻く環境が大きな変革を迎えている今だからこそ「現地に足を運び」「現物を手に取り」「現実を目で見て事実を知る」という三現主義を意識しながら、農業や農村、農産物の現状を把握し、自ら考えて行動していくことを目指して欲しいと思っています。

農業・畜産・造園に関心のある人はぜひ、農業大学校を知っていただきたいと思えます。オープンキャンパスなどの機会を通じてお会いできることを楽しみにしています。

先進地視察研修報告

野菜園芸コース

野菜園芸コースは京都府と兵庫県で視察研修を行いました。

京都府では野菜の種苗生産の研修を、大手種苗会社で行いました。野菜の育種から現場生産までの過程について学びました。一つの品種を誕生させるまでには、長い年月と莫大な費用が必要であること、また、その品種を実際の栽培まで持つて行くには相当大変であるなどがわかりました。

二日目は、京都府内のデパートなどで香川県産野菜の販売状況について調査しました。時期的な事もあって、イチゴと金時ニンジンのみ取り扱いを確認できました。イチゴについては、つる付きアイテムで、非常に高級感を出した販売をしていました。

三日目は、神戸市中央卸売市場で市場の役割について研修しました。市場の集荷機能、分荷機能、決済機能について

その重要度を改めて認識しました。中でも実際のセリにおけるその独特な値決めと、速さに感心しました。また、同市場での香川県産野菜の状況では、この時期はブロッコリー、レタス、ミニトマトなどが多く扱われていることがわかりました。



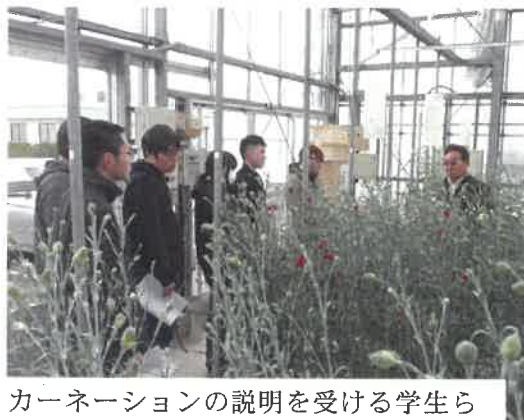
神戸市中央卸売市場の県産レタス

花き園芸コース

花き園芸コースは、愛知県と京都府で視察研修を実施しました。

愛知豊明花き市場は、鉢物取引がアジア・太平洋最大規模で、年間取扱実績が約五、六千万鉢、一、二〇億円で、研

修当日は、ピーク時期の半数程度の入荷量でしたが、セリ待ちで市場全体を埋め尽くす鉢物台車の状況は圧巻で、種類の多さにも驚いていました。カーネーション種苗専門のフジ・プランツ株式会社では、カーネーションの育種や種苗販売はもとより、国内で栽培されているほとんどの品種約五〇〇品種を見ることができ、導入品種検討の参考になりました。



カーネーションの説明を受ける学生ら

有名花店での流通販売調査は、名古屋駅と京都駅付近の老舗花店や日比谷花壇を見学し、地域による取扱品目の違いや、本県と地方と首都圏との販売価格の違いを実感しま

した。

京都府立植物園は、大正十三年に開園した日本最古の公立総合植物園で、園内は広大で植物の種類が多く、学生は随所で珍しい植物に興味を引かれていました。

大規模な市場、首都圏での高級花店、また、多種の植物等普段見聞きすることのできない研修となり、大変有意義な研修になったと思います。

果樹園芸コース

果樹園芸コースは、東京都内の高級果実専門店等と青果部市場として取扱規模が日本一（二千億円程度）である東京都中央卸売市場大田市場を中心に、果実の流通販売状況の視察研修を行いました。

大田市場では県産品各産地の出荷物や競（せり）の状況等を視察調査しました。学生たちは、市場は賑やかな競のイメージがありました。最近では相対取引の搬出が大半を占めて競の姿が激減とのこと。少し残念そうでした。「競」と仲卸等はハンドサインや

専門用語で意思疎通を図るので素人目には何が何だかサッパリ」との感想も。市場の規模と出荷量の品数の多さ、並びに、市場内関係者による時間に追われる作業（フォークリフトが前後左右何十台も横行し惹かれそうになりながら）の慌ただしさに終始圧倒されていました。

当市場では、卸売業者や仲卸売業者の方々や市場駐在の担当者から県産果実の評価や本県産へ要望等の「生声の流通ニーズ」を聴くことができ、県オリジナル品種のキウイフルーツやブドウの「シャインマスカット」等の品質に対する高評価と高値が得られており、県産品オリジナルへの安定的量の確保が期待されました。仲卸から高級果実専門店に卸す本県三木町産イチゴ「女峰」や「せとか」の試食もさせて頂き、学生一同は感激。また、都内の高級果実専門店や百貨店内のフルーツブースでは最高級果実が気品高く美しく飾られており、超一流を実感。芸術の域にあり、学生らは目を丸くしていま

都市緑化の現状などを学ぶため、造園緑化コース一学年四

造園緑化コース



クイーンズ伊勢丹にて

た。店舗では、商品説明、陳列や販売促進に至り、徹底した品質管理。接客対応や商品知識など販売の奥深さを知り、農大の直売所と比較し、「ポップなど直売所もお洒落な販売をしたい」との声が学生から挙がっていました。この貴重な研修は、一年後の就農等により果実を栽培する上での高い目標を抱くことができたと思います。

大阪城ホール外壁の石積みは、城の石積みと合うデザインにしており、小さい詰石は使用せず、大きい石一つ一つを割って合場を合わせて積み上げる本格的な石積みでした。住吉公園は、農大の敷地ほどの面積ですが、シンジュなどの大木がコンパクトに寸胴切り剪定されていたのが印象的でした。公園内は広々としており、入口には噴水や花壇の寄せ植え、奥には和風庭園風の



慶沢園を見学

名は、大阪市内で先進地視察研修を行いました。一日目は大阪城公園、二日目が住吉公園、三日目は慶沢園庭園で研修しました。

畜産コース

平成三一年三月一三〜一五日に東京都の上野動物園と千葉県のマザー牧場、鴨川シーワールドへ行きました。上野動物園では、スマートラトラやニシロードランドゴリラ等、五〇〇種類の様々な野生動物の見学をしました。マザー牧場では、菜の花が咲き乱れていて、観光牧場としての牛、豚、ヤギ、羊などとふれあい

浅い流れや飛石などがあり、市民の憩いの場として、また、防災上の避難場所としても整備されているようでした。慶沢園は、近代日本庭園の先駆者の一人とされる小川治兵衛が作庭した池泉回遊式の日本庭園で、庭園内に配置された景石や滝石などはどれをとっても完璧に配置施工されており、学生らは大いに感心していました。

平成三一年一月一六、一七日の二日間、徳島市において中国四国ブロックプロジェクト発表会が開催されました。本校からは学生七名、全体で九七名が出席し、一九課題の発表がありました。本校は、

全国・中四ブロックプロジェクト発表会



鴨川シーワールドでウミガメ保護の研修

保護活動にも力をいれていて、担当者からその説明を受けました。今回の研修は、家畜と違った動物の見学、ふれあい、ウミガメの保護活動など大変貴重な経験ができました。

全国プロジェクト発表会は、同年二月一四く一六日に東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで約三二〇名が参加し開催され、本校からは学生四名が参加しました。



全国プロジェクト発表会

山内遼さんが「芝生化をはじめとする野球グラウンドの美化」を、土屋舞子さんが「多孔質ケイ酸カルシウム水和剤資材が高温期のキャベツの生育に及ぼす影響」を発表しました。その後の交流会では他校の学生と親睦を深め、翌日は OAT アグリオ栽培研究センターや阿波踊り会館を見学しました。本発表会は次回、山口県で開催されます。

コース	氏名	課題名
野菜園芸	池添 凱人	ニンニク栽培における産地別種球の冷蔵処理効果について
	草薙 昌弥	ズッキーニにおける栽培方法の検証
	高木 優作	有機ニンジンの経営評価
	武田 裕	イチゴ「さぬき姫」の多株栽培における年内収穫量増加への影響
	橋 颯斗	将来の経営計画
	土屋 舞子	多孔質ケイ酸カルシウム水和剤資材が高温期のキャベツの生育に及ぼす影響
	藤田 真樹	西洋ニンジンの6月播き栽培におけるマルチ資材が発芽率及び根部に及ぼす影響の品種間調査
	森安 渉	香川黒1号の品質と官能検査及び着莢数の調査
	山下 明日香	野菜の6次産業化における経営評価
	山下 まどか	ニンニク栽培の土入れ効果
園花芸	陸山 詞久	ケイトウの株間及び摘心位置の違いが切り花品質に及ぼす影響
	松本 武志	ヒマワリの多量播種間引き栽培が切花品質及び良品割合に及ぼす影響
果樹園芸	赤澤 陸	ナシ「幸水」の早期摘花・摘果が果実品質に及ぼす影響
	安達 亜美	モモ「あかつき」における大苗育苗栽培の検討
	武田 龍之亮	カキ「太秋」における環状剥皮が果実品質に及ぼす影響
	三木 大侑	キウイフルーツ「讃緑」へのフルメット処理が果実に及ぼす影響
	宮武 萌	モモ「ちよひめ」における透湿・防水シートが果実品質に及ぼす影響
	藪内 大河	カルシウム剤「クレント」の散布がウンシュウミカンの浮皮及び果実品質に及ぼす影響
造園緑化	高橋 功平	サクラの挿木増殖
	山内 遼	芝生化をはじめとする野球グラウンドの美化
畜産	鎌倉 航輝	自然哺育牛における騒音問題を解消する離乳方法の検討
	河村 凌	乳用牛のコードモリタリングを活用した発情発見の効果
	永峰 はるか	乳用牛の乳量減少による自然発情発見の検討
	山本 泰三	子牛におけるサンバエの防虫成分含有ネットでの吸血ストレス緩和と発育の関係

まず、記念講演では、熊本県阿蘇市でミニトマト等を栽培している宮本龍氏が「新規就農への道」と題して御自分の失敗談を中心に話されました。その後の情報交換会では参加者が全員参加して学校生活や農業への想いを語り、交流を深めました

翌日は一五名のプロジェクト発表と一〇名の意見発表があり、これからの専攻実習の参考になりました。

校内卒論発表会

平成三十一年一月一日に校内卒業論文発表会を行いました。二年生は、専攻実習を通して自ら課題を設定し、課題解決のために調査研究した結果を取りまとめ発表に臨みました。限られた持ち時間の中で、研究成果や問題点、生産現場での実用性などを整理して伝えようとする苦心の跡がみられました。一年生も発

表の進行役として活躍し、来年度に向けて発表の場を経験しました。

生徒も含めた出席者による採点の結果、優秀者は次の五名となりました。

- 造園緑化 山内 遼
- 野菜園芸 土屋 舞子
- 野菜園芸 山下 明日香
- 野菜園芸 橋 颯斗
- 畜産 永峰 はるか



校内卒論発表会

同窓会だより

J A 香川県 経済部次長

林 進さん (大川支部)

私が、農大の果樹コースを選択したのは、家業が水稲と

桃・すももの複合経営で、長男として家業を受け継ぐことが当たり前の時代であったからかもしれない。



農業の基礎と実技を学ぶことに一生懸命だった農大時代。懐かしく思い出されます。寮生活や学校生活で多くの仲間と知り合えたことは財産となり、今の自分の礎(いしずえ)となりました。

二年生時、果樹実習で勉強した頃は、キウイフルーツが研究されており「香緑」も品種登録前でしたが、その時の恩師や研究員の皆さんの開発にかける情熱とひたむきな姿勢は、今でも忘れることができません。

地元の農協に入組してから、営農指導員として配属され、農大で学んだ事を糧に、現場での実践的技術の習得と農家経営の勉強をしてきました。

た。農業に限らず、志を持って努力を惜しまなければ、おのずと結果は付いてくるものです。皆さんも自分の可能性を信じて、夢と目標を持って頑張ってください。

活躍する卒業生

榊原 由知さん(綾川町)



榊原さんは、農業大学の野菜園芸コースで野菜栽培に関する教養や実際の栽培技術を学ばれました。卒業後は農業大学校で学んだことを将来に活かせる職場としてJA香川県に就職されました。

JA香川県では、ブロッコ

リーやアスパラガスなどの野菜や、ヒマワリなどの花卉の営農指導をされ、その生産物の販売業務も担当されています。

営農指導業務は、県農業改良普及センター職員と連携して生産者の圃場を巡回し、ブロッコリーやアスパラガス、ヒマワリなどの生育状況の確認や栽培管理、病害虫防除などの技術指導を行われています。また、他地区に負けない高品質なものを生産するために、栽培技術講習会の開催や県内外への視察研修を実施されています。

販売業務では、JAの集荷場に搬入された野菜や花卉を検収し、より有利な販売ができるように販路の維持拡大にも力を注がれています。今後も生産者との対話を大事にし、より良い野菜や花卉が出荷できるように全力で頑張っていきます。

技術研修科だより

技術研修科では、希望される方がご自身のステップに

じて選択できるように各種研修を開講しています。



フォローアップ研修(油圧ショベル安全利用)受講風景

「就農を支援するための研修」として実施している①就農準備研修②就農実践研修③就農基礎講座では、新規就農を目指して基礎から農業を学ぶことができます。

また、既に就農している農業者向けには「農業経営を展覧させるための研修」としてかがわ農業MBA塾や、「営農技術向上を図るための研修」として①フォローアップ研修②農業機械利用技能者養成研修③聴講生受入研修を開講しています。

さらに、「農業への理解を促

進するための研修」では、児童、生徒等を対象に、直に農業に触れてもらう農業体験研修などを実施しています。

頑張る修了生

福西 一樹さん(綾川町)



私は平成二九年四月から七月までの四か月間、就農準備研修生として農大で野菜づくりの基礎を学び就農しました。就農したきっかけは、修了式の二日前に父が病に倒れ、そのまま一〇月に亡くなり、農地をどうすべきか悩んでいたところ、近隣でイチゴを経営している親戚から、一緒に

イチゴを作らないかと誘われ、思いきってハウスを新設し、イチゴの高設栽培を始めたのが始まりでした。

農大ではイチゴの講義は受けましたが、実際の栽培経験がないので、育苗や施設の設定等も大変でした。現在は「さぬき姫」を二a栽培し、出荷作業も何とかできるまでになりました。

まだまだイチゴの栽培技術を身に付ける必要がありますが、農大での同期の研修生らも視察に来てくれるなど交流もあり、イチゴを始めて良かったと思っています。

学生募集

オープンキャンパス

開催日は、七月二日(日)、八月二日(金)、八月一八日(日)の3回で、時間はいずれも九時三〇分〜一二時です。学生を対象とした「農場実習体験コース」は、①野菜、②果樹、③花き、④造園、⑤畜産の五コースからの選択となります。また、学生、保護

者、高校教諭を対象とした「学校施設案内コース」もありますので、開催日の二日前までに本校の教務課に電話で申し込んでください。

入学試験

推薦入学試験の願書受付期間は九月二六日〜一〇月九日です。試験日は一〇月一七日です。前期の一般入学試験の願書受付期間は一月二八日〜二月一日で、試験日は翌二月一月七日です。後期の一般入学試験の願書受付期間は二月四日〜二月一〇日です。試験日は二月一八日です。詳細は本校教務課まで。

農業大学校教職員名簿

- 校長 仲本孝幸
- 副校長 森末民子
- 総務研修課長 太卷まさみ
- (庶務・経理担当)
- 主任 大方和男
- 主任 内藤哲士
- 主任 宮下千晶
- 主事 前川直未
- 主事 榎原 昇
- 庁務員

(研修担当)

- 教授 横井弘善
- 教授 川上 清
- 教授 佐藤孝治
- 教授 宮武浩一
- 教務課長(兼) 森末民子
- (学務・農場担当)
- 教授 松本英治
- 教授 谷澤敬久
- 農場管理員 真鍋利正
- 野村和親
- 内野々一枝
- 谷川哲也

(野菜園芸コース)

- 教授 中尾俊彦
- 教授 久保昌弘
- 教育助手 武田 裕

(花き園芸コース)

- 教授 山本和人
- 教授 祖一範夫
- 教育助手 土屋舞子

(果樹園芸コース)

- 教授 山口 登
- 准教授 大谷 衛
- 教育助手 岡野冬弥

(造園緑化コース)

- 教授 大原一能
- 教授 住友 薫
- 教育助手 大野幸司

(畜産コース)

- 教授 真鍋圭哲